

作成日(改訂日) : 2016年7月4日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : テルスター水和剤
 会社名 : OATアグリオ株式会社
 住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8階
 担当部署 : 品質保証室
 電話 : 088(684)0220
 FAX : 088(686)7055
 緊急連絡先電話番号 : 03(5283)0251(本社)
 整理番号(SDS No.) : OAT0267-2
 使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入・粉じん)	区分外
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2B
皮膚感作性	区分外
発がん性	区分 1
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分 1(呼吸器系) 区分 2(神経系)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分 1(呼吸器系、腎臓、吸入:肺) 区分 2(神経系)

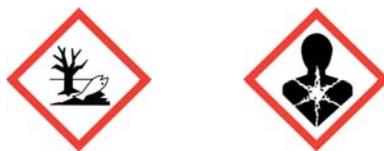
環境に対する有害性

水生環境急性有害性	区分 1
水生環境慢性有害性	区分 1

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険	
危険有害性情報	眼刺激	H320
	発がんのおそれ	H350
	呼吸器系の障害	H370
	神経系の障害のおそれ	H371
	長期間にわたる、または反復暴露による呼吸器系、腎臓、肺の障害	H372
	長期間にわたる、または反復暴露による神経系の障害のおそれ	H373
	水生生物に非常に強い毒性	H400
	長期継続的影響により水生生物に非常に強い有害	H410

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱い説明書入手すること。(P201)
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。(P260)
 取扱い後手および眼をよく洗うこと。(P264)
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
 必要な時以外は環境への放出を避けること。(P273)

指定された個人用保護具を使用すること。(P281)

【応急措置】

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。(P305+P351+P338)

暴露した場合:医師に連絡すること。(P307+P311)

暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けること。(P308+P313)

暴露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P309+P311)

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。(P314)

特別な処置が必要である。(このMSDSの4. 応急措置を参照) (P321)

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。(P337+P313)

漏出物を回収すること。(P391)

【保管】

施錠して保管すること。(P405)

【廃棄】

内容物/容器は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託すること。(P501)

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合製品

化学名(又は一般名) : ビフェントリン水和剤

成分及び含有量

成分	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
2-メチルピフェニル-3-イルメチル=(Z)-(1RS,3RS)-3-(2-クロロ-3,3,3-トリフルオロプロパ-1-エニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート (一般名:ビフェントリン)	2.0	82657-04-3	対象外 (農薬)	7-(3)-277
シリカ(石英を含む)	76	7631-86-9	1-548	1-548
酸化アルミニウム	16	1344-28-1	1-23	1-23
その他成分	6	-	-	-

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに空気の清浄な場所に移動させ安静にする。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

製品に触れた部分は直ちに大量の水で洗い流した後、石鹼水等でよく洗い落とす。

皮膚に炎症や痛み等がある場合は医師の診断を受ける。

眼に入った場合

速やかに流水にて 15 分間以上の洗眼を行い、痛み等がある場合は眼科医の処置を受ける。洗眼の際には、瞼を指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々まで水が行きわたるように洗浄する。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。医師の診断を受ける。

意識がない場合は無理に吐き出させようとしてはならない。

医師に対する特別な注意事項

本剤による中毒の治療法としては、実験動物で筋弛緩剤(メカルバモール製剤等)の投与が有効であると報告されている。

5. 火災時の措置

消火剤

泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス

使ってはならない消火剤

情報なし

火災時の特定危険有害性

情報なし

特定の消火方法

鎮火後には本品や消火液が河川などに流出しないように処置をする。

消火を行う者の保護

自式呼吸器および火災の状況に応じた適切な保護具を着用し、風上の安全な距離から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

適切な保護具(暴露防止措置参照)を着用して風上で作業し、風下の人を退避させる。
漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立入りを禁止する。
吸入や接触を避ける。

環境に対する注意事項

漏出物が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

除去方法

大量の漏洩物の除去や廃棄処理の場合は専門家の指示を仰ぐ。
危険を伴わない場合には漏洩を止める。
粉じんがたたないように注意して、可能な限り密閉容器に回収し、廃棄物として処理する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

粉塵の吸入、皮膚や眼への接触、及び経口摂取は避ける。
本品の取扱い時には、暴露防止のために適切な保護具(曝露防止措置参照)を着用し、作業中は十分に換気を行う。
作業後には手や顔を十分に洗浄する。的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。
作業着は再使用前に洗濯する。

保管

密封し、食品と区別して乾燥した冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

粉塵によって作業環境が汚染されないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化、あるいは全体換気を適切に行うことが望ましい。

化学名又は一般名	管理濃度(厚生労働省)	許容濃度(産衛学会)	ACGIH
ビフェントリン	-	-	-
シリカ(石英)	0.03 mg/m ³ (遊離珪酸含有率 76%の鉱物の粉塵として)	吸入性結晶質シリカ 0.03 mg/m ³	TWA 0.025 mg/m ³ (R)
酸化アルミニウム	-	第1種粉塵 吸入性粉塵 0.5 mg/m ³ 総粉塵 2 mg/m ³	-

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 防塵マスク
- 手の保護具 : 不浸透性手袋
- 眼の保護具 : 保護メガネ
- 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性作業衣、安全靴及び顔面用の保護具

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

- 形状 : 粉末
- 色 : 類白色
- 臭い : なし
- pH : 5.1

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

- 沸点 : データなし
- 融点/凝固点 : データなし

引火点 : なし
 発火点 : データなし
 蒸気圧 : データなし
 蒸気密度 : データなし
 比重/密度 : 0.25(見掛比重)
 溶解性 : データなし
 オクタノール/水分配係数(log Pow) : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

予期される通常の保管および取扱いの条件において安定と考えられる。

反応性

知見なし。

避けるべき条件

危険な反応の原因となる条件は知られていない。

避けるべき材料

危険な反応の原因となる化学物質は知られていない。

危険有害な分解生成物

知見なし。

11. 有害性情報

急性毒性

経口 LD₅₀ 値 : >5000 mg/kg(ラット)

経皮 LD₅₀ 値 : >2000 mg/kg(ラット)

吸入 LC₅₀ 値 : 5.25 mg/L(ラット)

皮膚腐食性・刺激性

刺激性なし

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

極軽度の刺激性

感作性

皮膚感作性(モルモット) : なし

発がん性

区分 1A に分類されるシリカをカットオフ値以上含有するため区分 1 とした。

特定標的臓器毒性(単回暴露)

区分 1(呼吸器系)に分類されるシリカをカットオフ値以上含有するため区分 1(呼吸器系)とした。

区分 1(神経系)に分類されるピフェントリンを区分 2 のカットオフ値範囲で含有するため区分 2(神経系)とした。

特定標的臓器毒性(反復暴露)

区分 1(呼吸器系、腎臓)に分類されるシリカをカットオフ値以上含有するため区分 1(呼吸器系、腎臓)とした。

区分 1(神経系)に分類されるピフェントリンを区分 2 のカットオフ値範囲で含有するため区分 2(神経系)とした。

区分 1(吸入:肺)に分類される酸化アルミニウムをカットオフ値以上含有するため区分 1(肺)とした。

12. 環境影響情報

生態毒性

LC₅₀(96hr) : 0.225 mg/L(コイ)

以下は有効成分ピフェントリンのデータ

EC₅₀(48hr) : 0.00011 mg/L(オオミジンコ)

ErC₅₀(0-96hr) : 516 mg/L(緑藻)

慢性有害性 : 区分 1(本品の 98%の成分については水生環境有害性が不明)

13. 廃棄上の注意

農薬の空容器、空袋などの処理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関連法律を順守し、適切に行う。

外部に処理を委託する場合は、知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する（地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する）。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 3077 - 環境有害物質(固体)

クラス : 9

容器等級 : III

輸送の特定の安全対策及び条件

積載する場合には、容器の落下や転倒等の防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。容器の破損を避けるため、粗暴な取扱いはしない。

15. 適用法令

農薬取締法	農薬登録番号 第 20791 号(登録:エフエムシー・ケミカルズ株式会社)
消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	名称などを表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号・別表第 9): 189 酸化アルミニウム、312 シリカ 名称等を通知すべき有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号・別表第 9): 189 酸化アルミニウム、312 シリカ
化学物質管理促進法(PRTR)	第 2 種指定化学物質(法第 2 条第 3 項、施行令第 2 条別表第 2) No.94 ビフェントリン
土壤汚染対策法	特定有害物質(法第 2 条第 1 項、施行令第 1 条) フッ素及びその化合物

16. その他の情報

参考

テルスター水和剤の SDS (2011 年)

連絡先

製品に関する問い合わせ先: コールセンター 0120-210-928

中毒に関する緊急問い合わせ先: 公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 (情報提供料: 無料)	医療機関専用有料電話 (情報提供料: 1 件 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9~21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いいたします。